

# 4

## 生物のくらしと環境 <sup>かんきょう</sup> ①-1

名前

①池の中の落ち葉や小石の表面を水の中でそぎ落とし、その水をけんび鏡で観察しました。

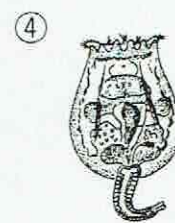
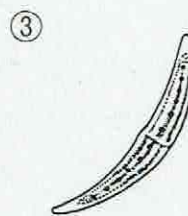
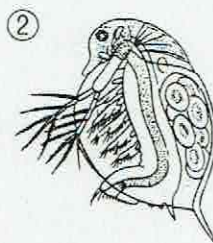
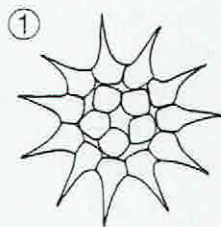
教科書  
65~69 ページ

(1) 図のようにして作ったものを、何といいますか。

( プレパレート )



(2) 下はけんび鏡で見た生物です。それぞれの名前と線で結びましょう。



ミジンコ

ワムシ

ミカツキモ

クンショウモ

(3) 下の生き物を、大きい順にならべましょう。

①コサギ

②ミジンコ

③メダカ

( ② ) → ( ③ ) → ( ① )

②池や小川にすんでいる野生のメダカは、何を食べ物にしていますか。

教科書  
65~69 ページ

( 水の中の小さな生物 )

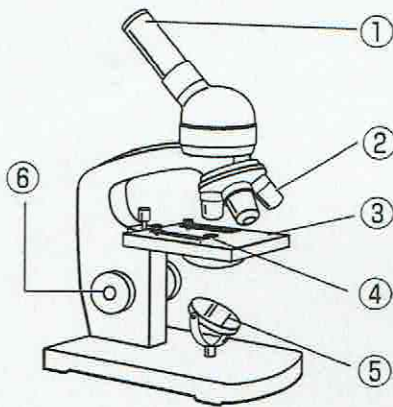
## 4

生物のくらしと環境<sup>かんきょう</sup> ①-2

名前

1 図の①～⑥それぞれの部分の名前を、下の( )に書きましょう。

教科書  
220 ページ



- ① ( 接眼レンズ )  
 ② ( 対物レンズ )  
 ③ ( ステージ (のせ台) )  
 ④ ( クリップ (留め金) )  
 ⑤ ( 反射鏡 )  
 ⑥ ( 調節ねじ )

2 けんび鏡の使い方について、正しいものに○を、まちがっているものに×をつけましょう。

教科書  
220～221  
ページ

- ( X ) けんび鏡は、日光が直接当たる、明るい場所に置く。  
 ( O ) 反射鏡を動かして、全体が明るく見えるようにする。  
 ( O ) ステージの上にプレパラートをのせ、クリップでおさえる。  
 ( X ) 接眼レンズをのぞきながら調節ねじを回し、対物レンズとプレパラートの間をできるだけ近づける。  
 ( O ) 接眼レンズをのぞきながら少しずつ調節ねじを回して、対物レンズとプレパラートの間をはなしていき、はっきり見えるところで止める。

## 4

生物のくらしと環境 <sup>かんきょう</sup> ①-3

名前

■ 食べ物を通した生物どうしの関わりについて、次の問いに答えましょう。



(1) 文を読んで、( ) に当てはまる言葉を下から選びましょう。

・生物どうしは「①(食べる)」「②(食べられる)」の関係でつながっている。

このような関係を③(食物れんさ)という。

・植物は④(養分)をつくり出し、動物は植物や、植物を食べた

⑤(動物)を食べ、(④)をとり入れている。

※①,②は順番不同

植物	養分	食物れんさ	食べられる
食べる	動物		

(2) 「食べられる→食べる」となるように、①～③に当てはまる動物を下から選びましょう。

ミカンの葉 → ①(アゲハの幼虫) → シジウカラ → ②(オオタカ)

水の中の小さな生物 → イワシ → ③(サバ) → サメ

メダカ	アゲハの幼虫	サバ	ミジンコ
ナマズ	オオタカ		